

令和2年新年名刺交換会

令和2年の新年名刺交換会が、1月20日（月）午後5時30分から生田神社会館において、井戸兵庫県知事をはじめ兵庫県・神戸市等関係行政機関の幹部、関係団体代表等、多くのご来賓をお迎えし、176名の出席のもと盛大に開催されました。

開会に先立ち、先ず生田神社の巫女によるお神楽・豊栄の舞を奉納して参会者の繁栄を祈念し、小山会長挨拶、井戸知事及び松本顧問（兵庫県議会議員）挨拶、加田新顧問（参議院議員）就任の紹介、来賓紹介、賛助会員紹介と次第を進め、足立国土交通省近畿地方整備局営繕部営繕品質管理官の乾杯の発声により和やかな雰囲気の中で歓談、交流を行いました。



豊栄の舞



小山会長挨拶

【小山会長挨拶（要旨）】

会員の皆様、賛助会員の皆様におかれましては、当協会の事業に対して格別のご協力を賜っておりますことに改めてお礼申し上げます。

また、兵庫県、神戸市をはじめ関係行政機関の皆様におかれましても、昨年1年間、数多くの電気設備工事の発注をしていただきました。この工事を通じまして、われわれ会員に対しましていろいろなご相談を賜ったことに対しても改めて感謝申し上げます。

引き続き、本年もたくさんの電気工事の発注をしていただけるものと期待しておりますので、昨年同様によりしくお願い申し上げます。

さて、昨年5月、新天皇陛下のご即位によって令和という年号が定められました。多くの国民が令和を祝い、平和で安心な生活を送ることを祈念したことと思います。

私事になりますが、当社の敷地内に安全旗と社旗を掲げておりますが、10月の即位礼正殿の儀にあわせて日章旗も掲げて祝っておりました。すると、兵庫県の方から11月末に京都御所で行われる天皇陛下が主催されるお茶会に、井戸知事様のご推薦により、ご招待の案内がありました。

当日は、天皇皇后両陛下おそろいでお出ましになられまして、間近で拝謁させていただくことができました。井戸知事様はじめ兵庫県関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

さて、我々の業界ですが、後継者不足問題、さらには働き方改革への対応がいよいよ身近となり、その対応に官民合わせた形で取り組まなければならない状況です。建設現場における週休2日制導入に対しても様々な問題点や課題が数多くあり、実施できないのが現状であります。ただ、働き方改革関連法が施行され、これを避けては通ることはできません。

兵庫県が主催する「兵庫県建設産業育成魅力アップ協議会」や「行政懇談会」を通じまして、兵庫県並びに関係行政機関の皆様と連携して対応をとっているところでございます。

これまで「きつい」、「汚い」、「危険」と言われておりました3Kから新3Kと呼ばれております「給料アップ」、「休暇の取得」、「希望ある業界」、この新3Kへの脱却を図りながら、新しい電設業界を作っていく

たいと思っております。

さて、昨年夏の参議院議員選挙で当選されました加田裕之先生に顧問就任をお願いしたところ、快く引き受けていただきました。加田先生は国、松本先生は兵庫県と、異なるお立場で業界に対する力強いご支援をいただけるものと思っております。

最後になりましたが、大阪府を除く近畿地区各府県で構成する近畿6電協会会長連絡協議会を設けており、会長は長年京都府さんにやっていただいております。昨年6月、兵庫県の私が会長に、さらに我々の上部団体である日本電設工業協会の常任理事も昨年10月に私が拝命しました。大きな重責を担うわけですが、全国の情報をいち早く把握できるとともに、我々地方の意見も上伸できるものと思っております。

兵庫県並びに電設業界のためにもうひと踏ん張りしたと考えておりますので、皆様方のご支援をお願い申しあげまして年頭のごあいさついたします。



井戸知事挨拶



松本顧問挨拶

井戸知事挨拶要旨

皆さん、令和になって初めての新年をどのようにお迎えになられましたでしょうか。今回は9連休でしたから、充実した新年をお迎えになられたと思います。

今日から始まりました通常国会であります。まずは補正予算の審議から始まると承知しております。補正は4兆3千億円の事業規模であり、当初の予算を含めた14か月予算は、平成31年の14か月予算との比較では、少し大きい規模になると言われております。

私たちもこれをすぐに活用しまして、来月の18日から始まり2月議会で補正予算を提出いたしまして、事業化を急ぐようにしていきたいと準備を進めていますので、よろしくお願いを申し上げます。

昨年は台風15号、19号と大きな被害を受けました。千葉の事例などを見ておりますと停電期間が非常に長かったということがありました。理由は大きな幹線がやられたということですが、幹線から最後の住宅への引き込み線もやられ、これが非常に問題だったんですね。関西電力と我々と包括的な協定を結び、しっかりと対応していかなければならないと考えております。

特に、山の送電線に樹木が倒れてきて電線を切る、送電線を支えている電柱などが潰れるということが続出しました。

樹木を処理しながら送電線を修復していく作業が必要となりますので、県と関西電力でチームを作ってやっていくという対応が必要であると考え、協定を結んで検討を進めているところです。

県庁の庁舎建替えも基本構想がまとまり、それを具体化しようとしているところでありますが、なかなかむつかしい課題があります。

一つは県民会館と県庁との間の道路をどうするか、取り扱いをどうするのかというところが大きな課題です。これが片付かないと基本計画もまとまりませんので、今詰めているところです。

発注の仕方をどうするのかも課題となっております。電業協会にちゃんと発注できるような契約形態をとるのか、それともまとめて発注するのかという話もありまして、これはしっかりと今後検討していく課題となるかと思っております。

今年の事業量は結構あるのではないかと思いますので、協会の皆様のご協力をお願いします。

今年もよい年になりますよう、協会、協会会員の皆様のご発展、そしてお集まりの皆様方のご健勝でのご活躍を祈念いたしまして新年のごあいさつとさせていただきます。



加田顧問夫人の挨拶



賛助会員の紹介



足立管理官 乾杯のご発声



乾杯



交流・懇談



小坂副会長 閉会の挨拶

主な行政関係出席者(敬称略)

井戸敏三（兵庫県知事）、荒木一聡（兵庫県副知事）、加田裕之（参議院議員・協会顧問 代理）、松本隆弘（兵庫県議会議長・協会顧問）、足立幸彦（国土交通省近畿地方整備局営繕部営繕品質管理官）、伊藤仁志（県技監）、出野上 聡（県まちづくり部長）、廣田俊彦（県県土企画局長）、西谷一盛（県住宅建築局長）、菅 範昭（県環境管理局长）、大谷俊洋（県企業庁次長）、高木泰幸（神戸市建築住宅局設備担当部長）、福本 豊（県住宅供給公社理事長）